

<速報>

\* 12月1日、ロシアのプーチン大統領がモスクワのクレムリンで上下両院議員らを集めて年次教書演説を行い、「当方の隣国、日本との関係が質的に前進することを期待している」と述べ、日本との経済協力を期待を示した。また、米国次期政権との協力の用意を表明し、「関係を正常化し、対等で相互利益があるものにしたい」と強調した。

\* 12月1日、フランスのオランド大統領が「来春の大統領選挙に立候補しない考えを表明した。失業問題への対応などから支持率低迷が続き、与党・社会党内も割れていることから、再選断念に追い込まれた。

\* 12月1日、南スーダンを視察した国連人権理事会の専門家グループが首都ジュバで会見し、「民族浄化が進行している」と述べた。

\* 12月2日、米国のトランプ次期大統領が台湾の蔡英文総統と電話で会談した。1979年の中国との関係正常化以来、電話であれ、米国の現職大統領や次期大統領が台湾総統と会談したことはない。3日、中国の王毅外相がトランプ次期大統領と蔡総統の電話会談に対し、「台湾の小細工にすぎない」と反発した。

\* 12月2日、フィリピンのドゥテルテ大統領がトランプ大統領と電話会談した。両氏は来年にそれぞれ訪問するよう招待しあい、トランプはドゥテルテ政権の強硬な麻薬対策に理解を示した。

\* 12月4日、上院の権限を大幅縮小する憲法改正案への賛否を問う国民投票が実施され、投票率は67.1%で、反対が59.8%、賛成が40.4%となり、5日レンツィ首相が辞意を表明した。

\* 12月4日、オーストリアで大統領選挙の再々選挙が実施され、「緑の党」のアレクサンダー・ファンダーベレン氏(72)が右翼・自由党の下院第3議長のノルベルト・ホファー氏(45)を破って当選を決めた。不在者投票の開票を残した段階でファンダーベレン氏が51.68%、ホファー氏は48.32%であった。

\* 12月4日、パレスチナ自治政府の主流組織「ファタハ」は最高意思決定機関である中央委員会の委員らを選出したと発表した。総会では中央委のメンバー23人のうち18人を代議員の投票で選出。自治政府のアッバス議長(81)の支持者が中心で指導部人事を通じアッバス氏の権力基盤が強化された。

\* 12月4日、ブラジルの主要都市で政府の汚職に抗議するデモが行われた。議会がこのほど新たな汚職対策法を可決したが、現在不正を暴こうとしちえいる判事や検事を脅迫するものだとの受け止め方が広がっている。

\* 12月4日、シリアの北西部イドリブ県でロシア軍の戦闘機によるものとみられる空爆が続き、計73人が死亡した。イドリブ県は激戦地アレッポの南西に位置し、「シリア征服戦線(旧ヌスラ戦線)」などの過激派組織と、欧米やトルコが支援する反体制派が支配している。

\* 12月4日、米国陸軍省がノースダコタ州で建設が進む石油パイプラインについて、環境

保護などを訴える先住民の居留地近くで建設を認めないことを決めた。今夏から数千人が草原で反対活動を続けていた。

\* 12月4日、中央アジアのウズベキスタンで大統領選挙が行われ、大統領代行のシャフカト・ミルジョエフ氏（59）が当選した。投票率は87.73%で、4人の候補中ミルジョエフ氏が88.61%を得票した。

\* 12月5日、ニュージーランドのジョン・キー首相（55）が首都ウェリントンで行った定期会見で突然辞意を表明した。保守系与党国民党の議員総会が12日に開催され、後継者として新首相が決められる。

\* 12月5日、リビア統一政府の部隊が「イスラム国」が拠点としていた中部シルトを「完全に支配した」と発表した。同部隊は声明で「イスラム国は完全に崩壊し、メンバー数十人が降伏した」と強調した。

\* 12月5日、第71回国連総会が全体会議で軍縮・国際安保問題を扱う第1委員会付託の決議案のうち68本を採択した。うち核軍縮関連の決議は23本採択された。

\* 12月5日、イギリスの「EU 離脱をめぐる、ロンドンの最高裁が正式な離脱手続き開始には議会の承認が必要かどうかの判断を求められた訴訟の審理を開始した。

\* 12月5日、「イスラム国」の広報担当が声明を出し、トルコを名指しして同国の「すべての大使館と領事館」を攻撃するよう信奉者に呼びかけた。

\* 12月5日、フランスのバルス首相が、首相の職を6日に辞任した上で来春の大統領選挙に立候補すると表明した。与党・社会党など左派が1月に開く予備選挙に出馬する。

\* 12月5日、シリア北部のアレッポをめぐる国連安保理が人道支援のために7日間の休戦協定を求める決議案を採決したが、ロシアと中国が拒否権を発動したため否決された。

\* 12月5日、イタリアのマッタレラ大統領が辞意を表明していたレンツィ首相と会談し、2017年予算成立までの辞任延期を要請した。レンツィ氏の正式辞任後、マッタレラ大統領が与野党と協議し、解散総選挙か、後任の首相を指名して v 選挙管理内閣を組閣するかを決定する。

\* 12月5日、ニュージーランドのジョン・キー首相が首都ウェリントンで定期会見で首相を辞任すると表明した。12日に同首相が党首である与党・保守系の国民党の議員総会が開かれ、後継者として新首相を決定する見込み

\* 12月5日、米国カリフォルニア州議会の民主党が不法移民の強制送還政策を打ち出しているトランプ次期大統領の強行姿勢に対抗するため、移民を保護する法案を州議会に提出した。法案は、米国に滞在しながら公式な書類がなく強制送還に直面している移民の弁護士費用を工面するための基金を創設することや、刑事訴訟の担当弁護士に移民法を学ばせることを含んでいる。

\* 12月6日、韓国の朴ウネ大統領が与党セヌリ島の李貞ヒョン代表と会談し、同党が求めている「来年4月の退陣」を受け入れる考えを示した。

\* 12月6日、オーストリア内務省が4日に実施された大統領選挙のやりなおし決選投票

の結果を発表した。有効投票数は約460万。当選した「緑の党」元投手のファンダーベレン氏が53.79%、自由党の下院第3議長のホファー氏が46.21%を得票した。

\*12月6日、ドイツのメルケル首相が西部エッセンで開催されたキリスト教民主同盟の党大会で党首に再選された。来秋に実施される総選挙に首相候補として出馬し4選を目指すことが正式に決まった。

\*12月7日、EUを離脱するイギリスとのEU側首席交渉官バルニエ氏がブリュッセルで会見し、イギリスが来年3月末までに行う離脱通知後、原則2年の離脱交渉について「延長するつもりはない」と述べ、2年以内で妥結させる意向を示した。

\*12月7日、イラク西部の対シリア国境に近いカイムでイラク軍によると見られる空爆があり、民間人少なくとも55人が死亡した。

\*12月7日、ハーグの国際旧ユーゴ戦犯法廷で元セルビア人戦力の軍司令官ラトコ・ムラジッチ被告(74)に対する論告求刑公判が開かれ、検察側が最高刑の終身刑を求刑した。

\*12月8日、ドイツの首都ベルリン市議会がSPD・左翼党・緑の党の左派3党がSPDのミュラー氏を市長に選出した。

\*12月8日、イギリス対外情報部(MI6)のヤンガー長官が、ロンドンの本部で演説を行い、2013年6月以降、情報当局が阻止したテロ計画が12件に上ったことを明らかにした。イギリスが直面するテロの脅威は「前例のない」レベルに達していると強調した。

\*12月8日、ロシアのラブロフ外相が、民間人脱出のためシリアのアサド政権軍がアレッポでの攻撃を停止したと発表した。9日、同外相が「人道的な理由で中断子弟が、再開した」と述べ、作戦が今度も続くとも見通しを示した。

\*12月9日、各国の国会本会議で朴ウネ大統領に対する弾劾訴追案が可決され、同大統領の権限が即日停止された。賛成234票で、野党に加え与党セブリ党の62人も賛成した。黄教安首相(59)が職務を代行する。

\*12月9日、ナイジェリア北東部の町マダガリの市場で女性と2人がほぼ同時自爆し、56人が死亡、57人が負傷した。犯行声明は出されていないが、「ボコハラム」の犯行と見られる。

\*12月9日、オランダ西部スキポールの裁判所が、「モロッコ系移民を減らす」という趣旨の発言で憎悪煽動などの罪に問われた自由党(PVV)のウィルダー党首に有罪判決を下した。

\*12月9日、エジプトの首都カイロ近郊で爆弾が爆発し、警察官6人が死亡した。同日、武装集団「ハスム運動」が犯行声明を出した。「ハスム運動」はムスリム同胞団と関係があると見られる。

\*12月10日、トルコの与党・公正発展党が大統領権限を強化する憲法改定案を国会に提出した。

\*12月10日夜、トルコのイスタンブール中心部で2度続けて大きな爆発があり少なくとも44人が死亡、155人が負傷した。11日夜、クルド人組織「クルディスタンの鷹」

(TAK) が犯行声明を发出。現場はプロサッカー・チーム「ベシクタシュ」が本拠とするサッカー場周辺、同チームの試合終了から約2時間後に爆発が起き、サッカー場に駐車していた警察車両近くで爆弾を積んだ自動車が爆発、その45秒後に近くの公園で自爆犯による爆発があった。

\* 12月11日朝、エジプトの首都カイロ中心部のコプト派の聖マルコス大聖堂に隣接する教会で爆発があり、25人が死亡、49人が負傷した。22歳の男による自爆テロ。

\* 12月11日、ルーマニアで総選挙が行われ、開票率約80%の段階で反緊縮政策を掲げる中道左派の社会民主党の得票率が45%を超え、約20%の中道右派の国民自由党を大きく引き離れた。

\* 12月11日、インドネシア警察は自爆テロを実行するための爆弾を所持していたとして男女4人をジャカルタ郊外などで対H所したと発表した。

\* 12月11日、ソマリアに首都モガディシオの港で爆発物を積んだトラックが爆発し市民ら20人以上が死亡、負傷者多数がでた。「アルシャバブ」が犯行声明を发出した。

\* 12月11日、「イスラム国」がシリア中部パルミラに再び侵攻した。「イスラム国」は8日に複数の方向からアサド政権軍の詰め所や油田などを同時に襲撃し、10日に再侵攻。まもなくロシア軍が空爆で反撃し戦闘員300人以上を殺害したが、「イスラム国」は4000人規模で侵攻した。

\* 12月11日午後、イタリアのマッタレラ大統領が与党・民主党のジェンティローニ外相(62)と会談し、次期首相に指名、組閣を要請した。

\* 12月12日夜、シリアのアサド政権軍の中枢幹部が反体制派が支配してきたアレッポ東部を「政権軍が完全に制圧した」と表明した。

\* 12月12日、シリアのアサド政権軍が紛争の激戦地アレッポ東部をほぼ制圧した。軍幹部は「勝利宣言の日」と語った。13日、反体制派はアサド政権と停戦に合意した。

\* 12月12日、EUのモゲリーニ外交安全保障上級代表(外相)とキューバのrとドリゲス外相がブリュッセルで政府対話と協力に関する協定に調印した。

\* 12月13日、米国国防省が、4日にシリア北部ラッカで有志連合主導による空爆を実施し、車で移動中の「イスラム国」の幹部3人を空爆で殺害したと発表した。うち2人(フランス国籍とブルギー国籍で財政的支援などを行っていた)は2015年11月のパリ同時テロに関与していたとされる。もう一人はフランス国籍の男で自爆攻撃を立案しベルギーで有罪判決を受けている。

\* 12月13日、イランのロハニ大統領が昨年7月の核合意に米国が違反したとして原子力を使った船舶の推進装置とその燃料の間髪をイラン原子力庁に指示した。米議会が1日にイラン制裁法を10年延長したことに対する措置としている。

\* 12月13日、カナダ政府の専門家委員会が大麻合法化に向けた調査報告書を公表し、18歳未満の購入近視や広告にタバコと似たような規制を設けることが主な柱となっている。

\* 12月13日、エジプトの首都カイロでキリスト教の一派コプト教の教会が爆破されて

70人が死傷した事件で「イスラム国」が「殉教志願者が自爆した」とする犯行声明を発出した。

\*12月13日、EUがブリュッセルで開催した総務相理事会でトルコ加盟交渉の今後のあり方を協議し「新たな分野の交渉開始は検討できない」との「厳しい意見が大勢を占めた。

\*12月14日、イタリアのジェンティローニ新内閣が前日の下院に続き上院でも賛成多数で信任された。新興政党「5つ星運動」など野党は新内閣は国民投票での敗北で退陣したレンツィ前内閣と顔ぶれがほぼ同じで正当性がないとして早期の総選挙を求めている。

\*12月14日、ベネズエラのロドリゲス外相がアルゼンチンの首都ブエノスアイレスで開催された南部共同市場(MERCOSUR)の会合への出席を拒否された。ベネズエラは今月、国内の人権状況などを理由にMERCOSURから資格停止処分を受けている。

\*12月14日、米国のNBCテレビが大統領選挙への影響を狙った民主党を標的としたロシアによるサイバー攻撃などの秘密工作についてプーチン大統領が個人的に指示していたと米国情報当局がほぼ断定したと報じた。

\*12月14日、コロンビアのFARC指導部が同国政府との和平合意に非たがわず武装解除を拒否したとして5人の司令官を追放したと発表した。7月には一部のグループが和平に反対を表明して離脱している。

\*12月13日午後9時半頃、沖縄県名護市で米軍輸送機・垂直離着機オスプレイが空中給油中に墜落して大破した。15日、翁長雄志県知事が東京都内で稲田朋美防衛省らにオスプレイの全機撤去を求めた。

\*12月15日(日本)、ロシアのプーチン大統領が来日し安倍首相と山口県長門市で会談した。両首脳はホ峰領土問題を含む平和条約締結や北方領土での「共同経済活動」について意見を交わした。

\*12月15日、シリア内戦の最激戦地アレッポでアサド政権側が包囲する反体制派の支配地から住民や戦闘員を撤退させる作戦が始まった。

\*12月15日、昨年秋のパリ同時テロ直から続くフランスの非常事態宣言が約6ヶ月間延長され、2017年7月15日まで続くことが決定された。延長は5回目で政府が提案し下院に続いて上院が関連法案を可決した。

\*12月15日、EUがブリュッセルの首脳会議でウクライナ東部の政府軍と親ロシア派の停戦合意の履行を求めてロシアに科している経済制裁を7月末までの6ヶ月間延長する方針を決めた。同日、EUは首脳会議でイギリスが離脱後もEUの単一市場へのアクセスを維持するには移民を受け入れる必要があるといった原則を確認した。

\*米国国土安全省は2015年に国外退去になった移民の総数を33万3341人と、前年に比べて約7万3000人、約2割減り、2年連続の減少となったと発表した。オバマ政権下の2009~15年に約280万人が国外退去となっている。

\*12月17日、来年4~5月に実施されるフランス大統領選挙に向けて、与党の社会党を中心とする左派陣営が候補者を選ぶ予備選が行われ、選挙管理委員会の審査の結果、バ

ルス前首相や門とブール元経済相ら7候補で争われることになった。

\* 12月17日、トルコの中部カイセリで兵士らに乗せたバスを狙ったとみられる爆発があり、少なくとも兵士13人が死亡、56人が負傷した。犯行声明は出ていないが、エルドアン大統領派PKKを念頭に「分離主義組織」による犯行と断じた。

\* 12月17日、ボリビアの与党・社会主義運動(MAS)が中部モンテロで大会を開き、モラレス大統領(57)を2019年の次期大統領候補にすることを決定した。2月にモラレス政権の長期化に道を開く国民投票が実施されたが否決されている。

\* 12月18日、ヨルダン中部カラクの観光名所の城などで銃で武装した集団と警官隊との銃撃戦があり、カナダ人女性観光客1人と遊ロダン人の市民2人、警察官7人の計10人が死亡した。ほかに警察官や一般市民ら27人が負傷した。20日、「イスラム国」が犯行声明を発出した。

\* 12月18日、ベルリンで開催されていた欧州左翼党の第5回大会が閉幕した。採択された政治方針は、EUによる緊縮政策の強要、右翼・極右・民族主義勢力の台頭、EUの軍事化などに反対し、幅広い勢力を結集して「連帯の欧州」を目指すことを呼びかけた。

\* 12月19日、ASEANはミャンマーの最大都市ヤンゴンで同国西部ラカイン州に住むイスラム系少数民族ロヒンギャへの人権侵害問題を協議する緊急外相会議を開催した。ロヒンギャ問題が加盟国間の対立を生んでいることや、「イスラム国」が浸透する恐れが背景にある。

\* 12月19日、ベルリン中心部でクリスマス市に大型トラックが突っ込む事件が発生し、12人が死亡、46人が負傷した。当初、パキスタン人が拘束されたが無関係であることが押命したため釈放された。19日、「イスラム国」系列の「アラク通信」が「イスラム国戦士が実行した」とする犯行声明を発出。21日ドイツ連邦検察庁はチュニジア人のアニス・アムリ容疑者(24)が関与した疑いがあるとして公開捜査に乗り出した。アムリ容疑者は以前から「イスラム国」とのつながりが指摘され要注意人物としてマークされていた。23日未明、アムリ容疑者が逃亡先のイタリア北部ミラノ郊外で警察官に射殺された。

\* 12月19日、スイスのチューリヒ中心部でイスラム教関連施設に侵入した男が発砲し、居合わせた信者3人が負傷した。また、施設近くで事件後1人の遺体が見つかった。

\* 12月20日、アフリカの島国サントメ・プリンシペが台湾と断交すると発表した。中国と国交を樹立すると見られる。

\* 12月20日、ザイド国連人権高等弁務官がフィリピンのドゥテルテ大統領が就任前に自ら犯罪容疑者を殺害したと発言した問題で、「そういう行為はフィリピン憲法第3条に定められた諸権利に直接抵触する」との非難声明を出し、同国の当局に捜査開始を求めた。

\* 12月20日(日本)、最高裁第二小法廷(鬼丸かおる裁判長)が米軍普天間飛行場の名護市辺野古への移設計画をめぐる埋め立ての承認を取り消した沖縄県の翁長雄志知事を国が訴えた訴訟の上告審判決で、県側の上告を退けた。

\* 12月21日、インドネシア警察が首都ジャカルタの西にある南タンゲラン市の住宅に

立てこもり、抵抗した3人を射殺した。「イスラム国」の指示で、年末に首都周辺で自爆テロを計画していた疑いが持たれている。

\* 12月22日（日本）、安倍政権が国家安全保障会議（NSC）を開き、安全保障関連法に基づき平時から自衛隊が米軍などの艦船を守る「武器等防護」についての運用指針を決定した。これにより、弾道ミサイルの警戒に当たる米軍などの艦船を自衛隊が守ることができるようになる。

\* 12月22日、シリアのアサド政権が声明を発し、北部の最大都市アレッポについて、反体制派が市はしてきた同市東部から住民の避難と反体制派戦闘員の撤退が完了したと発表した。

\* 12月22日、米国のトランプ次期大統領が自身のツイッターで「世界の核に関する良識が戻るまで、米国は核ン暴力を大いに強化・拡大する必要がある」と述べた。

\* 12月22日、「イスラム国」が拘束していたトルコ軍兵士2人を焼き殺したとする動画を「イスラム国」系サイトで公開した。トルコ軍は今夏以降シリア北部に軍を侵攻させ同地の「イスラム国」支配地域の制圧作戦を続けており、報復を図ったものと見られる。

\* 12月23日、オーストラリア警察が南東部メルボルンで爆発物や銃を使った大規模テロを企てた疑いで中東系グループの20代の5人を拘束したと発表した。

\* 12月23日夜、国連総会が10月末に総会第1委員会で採択していた核兵器禁止条約について交渉する国連の会議を来年2会期にわたって開くことを内容とする決議案を採択した。

\* 12月23日、国連安保理がイスラエルによるパレスチナ自治区への入植活動を違法と非難し、停止を求める決議を採択した。これまで同様の決議案に拒否権を行使したことがあるオバマ現米政権は今回は棄権した。23日、イスラエル首相府が声明を発し、「この恥ずべき反イスラエル決議を拒否し従うつもりはない」と反発した。

\* 12月23日、国連安保理が南スーダンへの武器禁輸措置を含む制裁強化決議案を否決した。欧米を中心ン位7ヶ国が賛成したが、南スーダン政府への刺激を避けたい日本やロシア、中国など8ヶ国が棄権し、廃案となった。

\* 12月24日、チュニジア内務省はtブ棒先のイタリアで射殺されたアニス・アムリ容疑者の甥ら3人をテロ組織に加わっている疑いがあるとして対処したと発表した。

\* 12月24日、国連安保理が入植活動の即時停止を求める決議を採択したことを受け、イスラエルのネタニエフ首相は国連機関への拠出金の停止などの対抗措置をより、国連との関係の見直しを1ヶ月以内に検討するよう外務省に指示した。

\* 12月24日夜、フィリピン南部ミンダナオ島の北コタバト州ミドサヤップのsナントニーニ教会の入り口から30メートルほどの外で手投げ弾が爆発し、16人が負傷した。

\* 12月25日、中国の空母「遼寧」がミサイル駆逐艦など5隻の艦船を従えて初めて宮古海峡を抜けて太平洋にでた。今後、南シナ海に向かうと見られる。

\* 12月25日、インドネシア警察が首都ジャカルタ東方約100キロのブルワカルタ

の民家で「イスラム国」を支持する武装集団の構成員2人を射殺した。

\* 12月26日、台湾と断交したサントメ・プリンシペが中国と国交を回復した。サントメ・プリンシペは1975年の独立時は中国と国交を結んだが、97年に中国と断交した。

\* 12月26日、トルコ大統領府報道官がトルコが継続中のシリア北部での軍事作戦で米軍主導の有志連合に対し「空爆支援に関し任務を果たすべきだ」と訴えた。

\* 12月26日、翁長雄志・沖縄県知事は前知事による「辺野古沿岸部の埋め立て承認」を自ら取り消した処分を取り消した。27日、防衛省沖縄防衛局が名護市辺野古での埋め立て工事を再開した。移設計画を巡る裁判で国と県が和解した3月4日以来の再開。同日、この工事再開に反対する市民らが辺野古の米軍キャンプ・シュワルブ前で反対集会を開いた。大規模な集会3月は以来。

\* 12月28日、米国のケリー国務長官がワシントンで演説し、イスラエルとパレスチナの「2国家共存」が「公正で永続する和平達成の唯一の方法だ」と強調し、イスラエルの入植地建設を批判した。

\* 12月28日、コロンビアの議会が武装解除される FARC の兵士について52年に及んだ内戦中の軽微の犯罪では訴追しないとする恩赦法を可決した。

\* 12月28日、オバマ大統領はユタ州とネバダ州の先住民の聖地とされる地域などを「国定記念物」に指定した。対象地区はユタ州の砂漠を含む135万エーカー（54万ヘクタール）。

\* 12月28日午後、新疆ウイグル自治区のホータン地区墨玉県の県共産党委員会の関連施設に車が突入して起爆装置を起爆させる事件があり、2人が死亡した。襲撃した容疑者3人は射殺された。

\* 12月28日夜、フィリピン中部レイテ島のヒロングスで町中心部の広場で爆発が起き、34人が負傷した。

\* 12月29日、ロシアのプーチン大統領がアサド政権と主要反体制派がシリア全土での停戦に合意したと発表した。アサド政権の「後ろ盾」のロシアと反体制派の支援国であるトルコが手を結び、米国抜き交渉が鮮明になっている。

\* 12月29日、オバマ大統領がロシアがサイバー攻撃を仕掛けて大統領選に介入したとされる問題について報復措置を発表した。ロシア情報機関が関わったと断定、幹部4人に制裁を科し、米駐在のロシア外交官ら35人を国外追放処分にした。

\* 12月30日午前零時、アサド政権と主要反体制派の停戦が発効した。停戦は今年3回目で米ロが主導した過去2回は短期間で崩壊。今回はロシアとトルコが実現させた。停戦合意に署名した反体制派は、シリア中部から北部に支配地域を持つ主要7勢力。「イスラム国」や「シリア征服戦線（旧ヌスラ戦線）」などの過激派組織は停戦合意から除外され、少数民族クルド人の「勢力は参加していない」。

\* 12月30日、フィリピンのロレンザーナ国防相が記者会見でドゥテルテ大統領が南シナ海で米軍と行ってきた合同演習を中止するよう指示したと明らかにした。今後、海上での



米比合同演習はフィリピン東部の海域で行うと述べた。

\* 12月31日朝、イラクのバクダッドで市場を狙ったテロとみられる爆発が2件相次ぎ、買い物客ら計25人が死亡した。「イスラム国」系のメディアが犯行声明を発出した。

\* 12月31日、ロシアとトルコが仲介するシリア内戦の和平協議をめぐり、「国連安保理が協議への指示を表明するロシア主導の決議案を全会一致で採決した。」